

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名: たしま友遊苑

作成日: 平成 21 年12 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者の人格を尊重した言葉かけや対応において、無意識のうちに損なった言葉かけ、対応になる時があり、別の利用者の面会に来られた家族が不快に感じられた。	親しき仲にも礼儀をもった対応ができること。 「熊本弁」丸出しでの会話は親近感があり大切であると思うが、ちょっとした言葉かけに問題がある。 コミュニケーションの必要性と、ちょっとした言葉かけが「小ばか」にした対応にならないように介護する側もされる側も笑顔の中で生活ができるようにしたい。	職員間で利用者個々との対応方法、場面ごとにどのような会話や言葉かけになっているのか、話し合いの場を作りたい。 無意識の言葉かけだけに、職員の性格や資質にも影響するもので難題とも考えているが、まずは、職員間の話し合いの場を設けたい。	継続
2	10	「運営推進会議」では、利用者の負担金、利用回数、病院受診サービス状況、ひやりはつと報告書など、詳細の資料を提供して家族意見を聞き出す努力を行っているが、意見が少なく、出席家族が限定されたうえで少ない。	利用者家族の半数(県外・市外を除き)が参加し、遠慮なく意見が出せる場を作りたい。	不参加家族への資料送付及び、推進会議開催の案内を行うこと。 推進会議の重要性を訴えること。	1年
3					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。